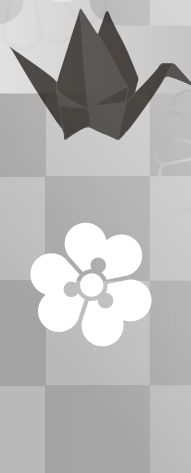


徳島県をリードする企業・団体のトップは
社会の変化にどう対処するのか。
トップ70名が今年を語る。

新春

2019年

トップインタビュー



index

健祥会グループ
徳島県歯科医師会
シケン

港産業
新日本電工
藍里病院
イツモスマイル

企画・制作／徳島新聞社 営業局



人口300
0万人の約
10%は同社
の製品が使
われている。
高いシェア
率で人々の
食べる喜び
を支えてい

地元から世界に通用する価値を生み出す

株式会社シケン 代表取締役社長 島隆寛氏

食へることで感じる幸
せ、そこには健康的な歯の
存在が欠かせない。小松島
市の株式会社シケンは、入
れ歯や差し歯を製造・販
売する会社として全国に
6カ所の技工所と26カ所
の営業所を擁する。入れ歯

る。
法人化以来、今年で40周
年。仕事の内容も時代とと
もに様変わりしており、2
00人も営業担当者が
毎日のように歯科医院を
訪問し、患者の口から直接
採った型を受け取るとい

う昔ながらのスタイルだけ
なく、口腔内スキャナーに
よって得た正確で精密なデー
タをもとに機械で素材を切削
することができたりと、デジ
タル化を応用した新しい歯科
技工物の在り方も拓けてき
た。それは同時にビジネス拡
大のチャンスでもあり、現に
シケングループでは受注と製
造の両方で海外と関わりを持
ち、アジアを中心に販路を拡

大しつづつある。
「我々の仕事にとって歯科
技工士は無くてはならない存
在だが、歯科技工を学んだ卒
業生が年々減っているのは大
きな問題」。代表取締役社長の
島氏はそう話す。貴重な人材
を大切に育てていくため、同
社では人材教育や子育て中の
働き方など様々な面で支援を
行う「共育企業」という考え
方を社員と共有する。

1月には熊本県に新しく技
工所を新設するほか、7月頃
には研究開発部門の子会社で
ある株式会社クエストが愛知
県から本社横に移転するとい
う。当社の技術と製品が歯科
業界のインフラとしてさら
に世に広まり、小松島市が「歯の
街」として知られるようにな
れば、島氏の志は、地元だけ
でなく世界にも向けられてい
る。



本社／小松島市芝生町字西居屋敷55-1
TEL.0885-32-2000
<https://www.shiken-jp.com>